

# 令和5年度全日本弓道選手権大会

天皇盃 第74回全日本男子弓道選手権大会

皇后盃 第56回全日本女子弓道選手権大会

**選手必携**

※選手は、本資料を熟読のうえ、大会に参加してください。

公益財団法人全日本弓道連盟

# 目次

1. 実施要項等について……………	< 2・3 >
2. 弓具・服装について……………	< 4 >
3. 大会日程について……………	< 4 >
4. 参加選手について……………	< 5 >
5. 選手受付について……………	< 5 >
6. 参拝について……………	< 5 >
7. 式典について……………	< 5 >
8. 競技運行について……………	< 5・6 >
9. 練習会場について……………	< 6 >
10. 予選結果等の発表について……………	< 7 >
11. アンチ・ドーピング研修について……………	< 7 >
12. その他……………	< 7 >
13. 会場図……………	< 8 >
14. 参加選手一覧……………	< 9 >
15. 予選立順一覧……………	< 10 >

## 1. 実施要項等について

### 令和5年度全日本弓道選手権大会

天皇盃 第74回全日本男子弓道選手権大会 実施要項

皇后盃 第56回全日本女子弓道選手権大会 実施要項

1. 目的 本連盟における最高峰の競技会と位置付け、日本弓道の継承および弓道技能の向上を目指すとともに心技体になつた射手の育成を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 後援 スポーツ庁・明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期日 令和5年9月29日（金）～10月1日（日）
6. 会場 全日本弓道連盟中央道場  
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1  
TEL：03-5302-5865
7. 競技種目 近的競技
8. 競技種類 個人競技
9. 競技種別 男子の部・女子の部
10. 競技内容 予選：採点制・決勝：的中制（坐射・直径36cm霰的）
11. 競技日程
- |          |       |    |               |
|----------|-------|----|---------------|
| 9月29日（金） | 16:00 | 女子 | 受付            |
|          | 17:00 | 女子 | 開会式           |
| 9月30日（土） | 9:00  | 女子 | 予選1回目（一手・採点制） |
|          | 11:00 | 女子 | 予選2回目（一手・採点制） |
|          | 13:40 | 女子 | 決勝（一手五回・的中制）  |
|          | 16:00 | 女子 | 閉会式           |
|          | 16:00 | 男子 | 受付            |
|          | 17:00 | 男子 | 開会式           |
| 10月1日（日） | 9:00  | 男子 | 予選1回目（一手・採点制） |
|          | 11:00 | 男子 | 予選2回目（一手・採点制） |
|          | 13:40 | 男子 | 決勝（一手五回・的中制）  |
|          | 16:00 | 男子 | 閉会式           |
- ※開始時間は進行の状況により変更の場合もある。
12. 競技方法
- (1) 予選  
各自4射（一手2回）行い、採点制により上位10名を決勝進出者とする。  
但し、4射2中以上を条件とする。
- (2) 決勝  
各自10射（一手5回）を行い、的中制により順位を決定する。  
但し、最上位者が複数の場合、優勝者決定迄射詰競技を継続する。  
優勝以外の順位決定は、遠近競技にて行う。
13. 表彰
- (1) 男子優勝者に天皇賜盃を授与する。女子優勝者に皇后賜盃を授与する。  
(2) 優勝～5位に賞状及びメダルを授与する。  
(3) 予選の最高得点者に楯（持ち回り）及び賞状を授与する。  
（同点の場合は本大会審判規定による）  
(4) 優秀者（決勝進出者）に賞状を授与する。  
(5) 優勝～5位に明治神宮より賞状及び賞品を授与する。  
(6) 優勝～5位に一般財団法人明治神宮崇敬会より賞状及び賞品を授与する。  
(7) 優勝者に公益財団法人日本武道館よりカップ及び賞状を授与する。

14. 参加資格 (1) 日本国籍を有し、地連（都道府県弓道連盟）に所属している、以下いずれかに該当する男女各49名。  
 ①第73回男子大会、第55回女子大会における優勝者及び最高得点者。  
 ②各連合会から選出された男女各47名（北海道1名、東北6名、関東8名、北信越5名、東海4名、近畿6名、中国5名、四国4名、九州8名）  
 ※各連合会は、ブロック大会を実施し、本大会に出場する選手を決定すること。
15. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
16. 参加申込 (1) 方法：参加者は所定の参加申込書に必要事項を入力後、印刷し、参加料を添えて、所属地連へ申請すること。自筆の場合は、必要事項を楷書で判りやすく明確に記入すること。  
 地連は申請者の資格等確認の上、締切日までに申込書を下記宛に送付し、参加料を本連盟の指定口座へ締切日までに振り込むこと。  
 (2) 注意点：参加者は申込に際し、所属地連の締切日に十分注意すること。  
 個人会員から本連盟に直接申し込みをすることはできない。  
 必ず地連が取り纏めて行うこと。  
 (3) 申込先：〒160-0013  
 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
 公益財団法人全日本弓道連盟 全日本弓道選手権大会係 宛  
 TEL：03-6447-2980
17. 参加料 1名：20,000円
18. 締切日 令和5年8月25日（金）必着
19. 宿泊 各自で手配すること。
20. 注意事項 (1) 大会参加にあたり、地連経由で配布の「選手必携」を確認すること。  
 (2) 弓具は、竹弓・竹矢を使用すること。詳細は弓道競技規則参照。  
 (3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。  
 (4) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。  
 (5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。  
 (6) 参加者は健康保険証を持参のこと。

21. 映像の取り扱いについて

個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。  
 権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

22. その他

申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。  
 (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（氏名、所属地連、称号、段位）  
 (2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名、所属地連、称号、段位、写真、動画）  
 (3) 本連盟広報活動として使用される各種メディア（出版社・テレビ局等）への提供（氏名、所属地連、称号、段位、写真、動画）  
 (4) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。  
 関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。



**スポーツ振興基金助成事業**

この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催されています。  
<http://www.naash.go.jp/sinko/> 独立行政法人日本スポーツ振興センター

2. 弓具・服装について

- ①弓具は竹弓・竹矢であること。※詳細は競技規則参照。
- ②服装は競技・式典とも弓道衣<白筒袖・黒袴・白足袋>とし、ゼッケン・選手章（受付時に配布）をつけること。
- ③替矢2本を持参すること。
- ④弓具・服装は、行射前の控で①～③の項目を点検する。違反個所が入場までに改善されなければ失権とする。

3. 大会日程について

令和5年9月29日（金）

予定時間	種別	内容
17:00～17:30	女子	開会式
17:30～17:50		矢渡

令和5年9月30日（土）

予定時間	種別	内容			
9:00～9:50	女子	予選 各自4射 (一手2回)	1回目前半	5立	1～25
10:00～10:50			1回目後半	5立	26～49
11:00～11:50			2回目前半	5立	1～25
12:00～12:50			2回目後半	5立	26～49
予選終了後		決勝進出者発表			
13:00～14:00		昼食休憩			
14:00～14:50		決勝 各自10射 (一手5回)	1回目	2立	1～10
			小休止		5分
			2回目	2立	1～10
			小休止		5分
	3回目		2立	1～10	
14:50～15:05	休憩 15分				
15:05～15:30		4回目	2立	1～10	
		小休止		5分	
15:30～16:00	5回目			2立	1～10
15:30～16:00	射詰競射・遠近競射				
競技終了後	閉会式				
17:00～17:30	男子	開会式			
17:30～17:50		矢渡			

令和5年10月1日（日）

予定時間	種別	内容			
9:00～9:50	男子	予選 各自4射 (一手2回)	1回目前半	5立	1～25
10:00～10:50			1回目後半	5立	26～49
11:00～11:50			2回目前半	5立	1～25
12:00～12:50			2回目後半	5立	26～49
予選終了後		決勝進出者発表			
13:00～14:00		昼食休憩			
14:00～14:50		決勝 各自10射 (一手5回)	1回目	2立	1～10
			小休止		5分
			2回目	2立	1～10
			小休止		5分
	3回目		2立	1～10	
14:50～15:05	休憩 15分				
15:05～15:30		4回目	2立	1～10	
		小休止		5分	
15:30～16:00	5回目			2立	1～10
15:30～16:00	射詰競射・遠近競射				
競技終了後	閉会式				

※決勝は各回の後に5分の小休止を取り、3回目終了後のみ15分の休憩を取る。

※進行により時間の変更が生じる場合がある。各自進行状況を確認の上、係員の指示に従うこと。

#### 4. 参加選手について

- (1) 出場人数 男子 49 名・女子 49 名（いずれも各ブロック代表）
- (2) 参加選手一覧、立順一覧は本必携 p 9, p 10 のとおり。

#### 5. 選手受付について

- (1) 日 時 女子 令和 5 年 9 月 29 日（金） 16:00 ～ 16:30  
男子 令和 5 年 9 月 30 日（土） 16:00 ～ 16:30  
※入館はそれぞれ 14 時以降可。

(2) 場 所 中央道場正面玄関

(3) 配付物 ゼッケン・大会プログラム・選手章等

(4) 前年度男子優勝者は天皇盃を、前年度女子優勝者は皇后盃を、前年度最高得点者は最高得点楯を受付時に必ず返還すること。

(5) 矢羽の使用に関する準則に該当する矢羽を使用する場合は、矢羽の適正入手証明書（トレーサビリティ証明書）を受付にて提示すること。

#### 6. 参拝について

本大会は役員による代表参拝を行います。選手の公式参拝はありません。

#### 7. 式典について

##### (1) 式次第

開会式	閉会式
1. 開式通告	1. 開式通告
2. 開会宣言	2. 成績発表
3. 国旗・全日本弓道連盟旗儀礼	3. 表彰
4. 賜盃返還 同 レプリカ授与	4. 講評
5. 最高得点楯返還 同 レプリカ授与	5. 大会会長挨拶
6. 大会会長挨拶	6. 国旗・全日本弓道連盟旗儀礼
7. 来賓祝辞（紹介）	7. 閉会宣言
8. 競技上の注意	8. 閉式通告
9. 選手宣誓	
10. 閉式通告	

※開会式、閉会式ともに男女別に行います。

※開会式は射場にて行います。（ブロック別に整列）

開始 10 分前（16：50）迄に射場に集合してください。

※決勝進出者は、閉会式に出席してください。

#### 8. 競技運行について

(1) 競技は、5 人立・坐射を原則として行う。（欠席の場合は、詰めずに空席のまま）

※射位における射手相互の間隔は、1.8m とする。

※予選の最終立は 4 人立とする。

- (2) 予選は「審査における行射の要領」で行う。  
※1立10分を目安とする。次の立は、今の立3番の乙矢の弦音で入場する。
- (3) 決勝は「競技における行射の要領」で行う。  
※1立7分を目安とする。次の立は、今の立3番の乙矢の弦音で入場する。
- (4) 行射時間は制限しないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。
- (5) 決勝における立順は、改めて抽選を行わず、予選立順のままとする。
- (6) 予選の結果、決勝進出への条件である4射2中以上の選手が定員の10名に満たない場合でも、補充せずに決勝を行う。また、決勝進出者が5名以下の場合、順位は空位とする。
- (7) 決勝10射の結果、優勝が決しない場合には、優勝者決定迄射詰競射を継続する。  
射詰競射は、一手毎に5分の間隔を開け、12射終了後15分の休憩時間を設ける。
- (8) 予選の成績に基づく裁定とは、次のとおり。  
① 合計得点の高い方を上位とする。  
② 同点の場合、「的中数」が多い方を上位とする。  
③ 的中数が同じ場合、一手（2射）の得点の高い方を上位とする。

例：A選手の841点がB選手の835点より高いのでA選手が上位となる。

	的中数	1回目	2回目	合計
A選手	4射3中	841点	744点	1585点
B選手	4射3中	750点	835点	1585点

- ④ 上記いずれも同じ場合には、審判委員長、審判副委員長が協議して順位を決定する。
- (9) 決勝進出者が発表されたら該当者は、直ちに射場内に集合のこと。（決勝の説明を行う）

## 9. 練習会場について

期日	至誠館弓道場
	的：10個
9月29日（金）	14：00～16：40
9月30日（土）	8：15～16：40
10月1日（日）	8：15～14：00 ※決勝開始まで

※練習会場を表のとおり開放する。

ただし、男子は9月29日、女子は10月1日は練習できない。

※本会場（中央道場）射場の開放はない。中央道場2階の巻藁室は期間中開放する。

※練習にあたっては、競技役員への指示に従い、危険防止に充分留意すること。

※矢取りは、原則として選手各位が行うこと。

※喫煙は所定の場所にて行うこと。

※上記の時間は変更する場合がある。変更が生じた場合は下記のLINEオープンチャットにて連絡するとともに、会場に掲示する。

## 10. 予選結果等の発表について

今大会の予選結果についてはLINEオープンチャットを利用して選手へご連絡します。  
個人への紙媒体での配布は行いませんのでご了承ください。  
※掲示は行いますが、できるだけLINEオープンチャットをご利用ください。

登録は参加選手のみとし、登録名は **選手名、都道府県名** でお願います。  
LINEオープンチャットでは、競技記録と大会本部からの連絡が発生した場合のみ取り扱います。  
大量の通知を避けるため、参加時の「●●県の▲▲です」といった自己紹介や挨拶、大会中の応援などは行わないでください。

なお、LINEオープンチャット登録のためのQRコードは対象を参加選手のみとするため、受付にて配布いたします。

## 11. アンチ・ドーピング研修について

本大会に出場する選手を対象にオンラインによるアンチ・ドーピング研修を行う予定です。  
全日本遠的選手権大会参加者と併せて後日行います。詳細は大会期間中にご案内いたします。

## 12. その他

(1) 開会式における選手宣誓は、選手を代表して、男女立順番号1番の方をお願いします。  
女子大会 石井 めぐみ 選手 (秋田県) ※予選立順1番  
男子大会 山本 亮介 選手 (熊本県) ※予選立順1番

### (2) 安全対策について

- ① 安全管理には万全を期すが、大会実施中に万一事故が発生した場合は、応急手当を施し、更に病院等で診療を受けた場合、その初診料は主催者が負担する。
- ② 医療機関に健康保険証を提示しないで受診した場合、医療費の全額が受診者の負担になるので、必ず、健康保険証を持参すること。
- ③ 大会開催中(大会会場への往復途上は含まれない)、会場内における万一の事故に備え、本連盟の負担で選手・役員を対象として傷害保険に一括加入する。

### (3) 弓の発送について

中央道場での弓の受取・発送は受け付けない。弓を送りたい場合は各自でホテルや宅配営業所などで行うこと。

### (4) 選手控室について

控室は、原則として選手以外の入室を禁止とする。但し、事前に本連盟で承認したスポーツトレーナー等の帯同者は許可する。帯同者は期間中、受付で配布するIDを着用すること。IDは大会終了後返却すること。なお、帯同者の申請は9月22日(金)までに都道府県弓道連盟を経由し、全日本弓道連盟事務局宛へ連絡すること。申請様式の指定はない。

(5) 本連盟で許可をした業者が競技等の撮影取材を行う。また、撮影した動画をライブ配信ならびに記録映像として、本連盟公式YouTubeチャンネル等にて公開する。

(7) 本大会は観覧席を開放します。特に制限はありませんが、譲り合ってください。

# 13. 会場図



#### 1 4. 参加選手一覧（都道府県内順不同）

天皇盃 第74回全日本男子弓道選手権大会 参加選手一覧

所属地連	立順	氏名	出場回数
北海道	33	増田 智之	2
青森	39	坂本 達雄	12
	35	梅津 匡行	3
岩手	24	清水 義正	6
宮城	31	櫻井 康英	4
	29	飯山 雄介	6
秋田	4	成田 祐也	3
福島	46	渡邊 英史	4
茨城	37	矢野 大輔	2
群馬	34	高橋 香内	2
埼玉	21	軽込 次男	2
東京	30	角坂 憲次	8
	19	成田 寿一	3
神奈川	16	鈴木 克己	2
	11	古郡 健	6
山梨	28	中村 昌夫	初
石川	3	友安 正人	10
	43	中條 大輔	10
	22	曾山 良和	5
	32	咲川 雅敏	2
	49	勝二 秀典	初
静岡	15	朝田 晋輔	8
愛知	13	木塚 鉄也	6
	44	原田 友康	3
三重	47	森 直記	初
滋賀	45	楠井 康文	6
京都	40	牧野 悦治	4
兵庫	10	和田 尚樹	5
奈良	26	藤岡 順	5
	6	佐藤 峻	初
和歌山	9	田中 克彦	19
島根	8	中野 栄治	初
	14	辻 進	9
	17	小原 裕幸	10
岡山	23	坂元 陽一	12
山口	36	黒田 素直	4
香川	41	櫻田 紀行	9
	42	田村 隆之	3
徳島	20	吉田 佳史	9
高知	27	石川 正博	初
福岡	2	立畠 潤一郎	初
	5	東田 玉史	初
佐賀	38	黒住 一道	22
長崎	12	松岡 誠二	13
熊本	1	山本 亮介	4
	48	吉田 志	3
大分	25	才川 義昭	11
宮崎	18	矢野 翼	初
鹿児島	7	橋口 聖矢	6

皇后盃 第56回全日本女子弓道選手権大会 参加選手一覧

所属地連	立順	氏名	出場回数
北海道	43	原 かおり	4
青森	4	岸 恵理子	13
	30	野呂 恵子	3
岩手	42	村川 春圭	4
宮城	26	星 登喜枝	19
秋田	1	石井 めぐみ	2
福島	44	千葉 香代	2
群馬	40	春原 由美子	初
千葉	29	金田 由紀	3
	34	中川 睦子	初
	3	藤原 有紀恵	初
	46	沼里 恵子	3
	39	香月 絵里	初
神奈川	9	兵藤 久美子	初
	13	三澤 京子	7
	35	望月 久美	3
長野	25	久保田 智恵	14
	10	中村 美穂	3
	15	牧野 ふみ江	3
	12	牛越 和枝	初
石川	11	山本 真理子	5
静岡	24	鈴木 万知与	2
	47	櫻井 都	3
愛知	8	上岡 優子	4
岐阜	23	西脇 早苗	10
滋賀	19	中西 八重子	12
	32	森岡 栄子	2
京都	31	竹内 博子	初
大阪	21	山田 直美	18
奈良	5	林 秀子	2
	22	八木 純子	初
鳥取	2	有澤 千秋	17
岡山	41	大西 由紀子	12
	38	妹尾 佳子	3
広島	28	中崎 千恵子	15
山口	16	立野 知己	9
	33	平仲 由美子	10
香川	27	横関 教子	5
徳島	17	竹本 佐知子	3
	14	田中 みゆき	4
	6	増田 恭子	初
福岡	7	山本 由美子	初
	45	塘 理奈	2
長崎	20	田中 美和	3
熊本	18	田中 三千代	初
	49	岩切 久実	11
宮崎	36	小玉 靖子	2
	48	永山 睦美	4
鹿児島	37	田中 慶子	初

## 15. 予選立順一覧

天皇盃 第74回全日本男子弓道選手権大会  
予選立順一覧

立順	氏名	所属地連
1	山本 亮介	熊本
2	立畠 潤一郎	福岡
3	友安 正人	石川
4	成田 祐也	秋田
5	東田 玉史	福岡
6	佐藤 峻	奈良
7	橋口 聖矢	鹿児島
8	中野 栄治	島根
9	田中 克彦	和歌山
10	和田 尚樹	兵庫
11	古郡 健	神奈川
12	松岡 誠二	長崎
13	木塚 鉄也	愛知
14	辻 進	島根
15	朝田 晋輔	静岡
16	鈴木 克己	神奈川
17	小原 裕幸	島根
18	矢野 翼	宮崎
19	成田 寿一	東京
20	吉田 佳史	徳島
21	軽込 次男	埼玉
22	曾山 良和	石川
23	坂元 陽一	岡山
24	清水 義正	岩手
25	才川 義昭	大分
26	藤岡 順	奈良
27	石川 正博	高知
28	中村 昌夫	山梨
29	飯山 雄介	宮城
30	角坂 憲次	東京
31	櫻井 康英	宮城
32	咲川 雅敏	石川
33	増田 智之	北海道
34	高橋 香内	群馬
35	梅津 匡行	青森
36	黒田 素直	山口
37	矢野 大輔	茨城
38	黒住 一道	佐賀
39	坂本 達雄	青森
40	牧野 悦治	京都
41	櫻田 紀行	香川
42	田村 隆之	香川
43	中條 大輔	石川
44	原田 友康	愛知
45	楠井 康文	滋賀
46	渡邊 英史	福島
47	森 直記	三重
48	吉田 志	熊本
49	勝二 秀典	石川

皇后盃 第56回全日本女子弓道選手権大会  
予選立順一覧

立順	氏名	所属地連
1	石井 めぐみ	秋田
2	有澤 千秋	鳥取
3	藤原 有紀恵	東京
4	岸 恵理子	青森
5	林 秀子	奈良
6	増田 恭子	徳島
7	山本 由美子	福岡
8	上岡 優子	愛知
9	兵藤 久美子	東京
10	中村 美穂	長野
11	山本 真理子	石川
12	牛越 和枝	長野
13	三澤 京子	神奈川
14	田中 みゆき	徳島
15	牧野 ふみ江	長野
16	立野 知己	山口
17	竹本 佐知子	徳島
18	田中 三千代	熊本
19	中西 八重子	滋賀
20	田中 美和	長崎
21	山田 直美	大阪
22	八木 純子	奈良
23	西脇 早苗	岐阜
24	鈴木 万知与	静岡
25	久保田 智恵	長野
26	星 登喜枝	宮城
27	横関 教子	香川
28	中崎 千恵子	広島
29	金田 由紀	千葉
30	野呂 恵子	青森
31	竹内 博子	京都
32	森岡 栄子	滋賀
33	平仲 由美子	山口
34	中川 睦子	東京
35	望月 久美	神奈川
36	小玉 靖子	宮崎
37	田中 慶子	鹿児島
38	妹尾 佳子	岡山
39	香月 絵里	東京
40	春原 由美子	群馬
41	大西 由紀子	岡山
42	村川 春圭	岩手
43	原 かおり	北海道
44	千葉 香代	福島
45	塘 理奈	福岡
46	沼里 恵子	東京
47	櫻井 都	静岡
48	永山 睦美	鹿児島
49	岩切 久美	宮崎